

会員制教育サポート・サービス

渡米から帰国まで、安心してお子様に教育を

Premier Edu サポートセンター

2009年4月1日にスタートした Premier Edu サポートセンターでは、米国基本教育情報から日本語維持や帰国後の学校適応に関する対策まで、様々な疑問やお悩みを解消するお手伝いをしています。

<教育情報の収集>

米国赴任や帰任が決まると、海外引越しや勤務状況の変化に落ち着かない中、お子様の編入先を探したり、編入に向けての準備をしたりと大忙しです。日本とは違う米国教育システムに戸惑う事も多いでしょう。そんな時は、お気軽に Premier Edu サポートセンターへお問合せください。教育に関する情報や、どんな些細な疑問でも確認しておくことで安心できます。実際によくある質問は、下記のとおりです。

❖ 幼児教育

- プリスクールやキンダーガーデンは、義務教育？
- オムツをしている子は、キンダーガーデンに入れてもらえないって本当？

❖ 編入時期

- 4月に渡米し、5月から夏休みだと言われたが、すぐに米国の学校に通えるのか？それとも、夏休みが終わるの待って、編入させるべき？
- 日本と新学期開始時期が異なるが、学年は何年生になるの？

❖ 親子共に英語が苦手

- 編入に必要な書類は？
- 子供の英語力は、どのくらいで授業についていける程度に伸びる？
- 英語のわからない保護者が、懇談会やボランティアに参加すべき？

❖ 学校選び

- 現地校と全日制日本人学校、どちらに行かせるべき？
- 米国では公立校でも、学校のレベルや学習内容が異なるって本当？

米国で生活をする日本人の方は、同じような疑問や困難を持ちながら、お子様の教育に向き合っています。しかし、それを誰に相談したらよいのかわからず、悪戦苦闘している方も多いようです。そんな時、どんな小さな疑問でも一人で悩まず、Premier Edu サポートセンターへご連絡ください。その際、月額会員費のみでご利用頂けるサポート時間には制限がありますので、質問内容を事前にまとめてからご連絡頂けると効率的です。

<英語サポート>

お子様の学校での様子をもっと知りたい、先生に進路について相談したい等、教育に関心を持つ保護者の方でも、英語が苦手という理由で学校とコミュニケーションをとる事を諦めてしまう場合もあります。その結果、お子様に直接学校での様子を聞いたり、進路についてアドバイスしたりと、客観的な学校生活や学習能力に関する意見がわからないままになってしまいます。

また、特別な持ち物が必要な場合や、学校システムに関する変更があった場合等、学校から連絡事項がプリントで配られた時に、英語が理解できないからといって放っておくと、お子様の学校生活に支障を来します。そこで、保護者の方がよりお子様の学校生活を把握できるよう、Premier Edu サポートセンターでは通訳サービスを提供しております。他にも下記のような点でお困りの事があれば、通訳サービスをご利用ください。

❖ 編入手続

- 編入申込書に、何を書かなければいけないのかわからない。
- 学校から要求された必要書類が何かかわからない。
- 申込書を提出する際、何か言われたが何を言っているのか聞き取れない。

❖ 懇談会

- どうしても聞きたい事があるのに、伝えられない。
- 今後のクラス／進路について説明されているようだが、理解できない。

❖ 学校生活

- 欠席の連絡をしたいが、どう伝えていいかわからない。
- 学校から配られたプリントの内容が理解できない。
- 学校から電話がきたが、何を言っているのかわからない。
- テストの採点が間違っているの、訂正の依頼をしたい。

学校とコミュニケーションを取りたいのに、英語が苦手なためにお子様の教育状況を思うように確認できない保護者の方は多いものです。また、日米の教育システムが異なる為、辞書で英単語を調べても内容が理解できない事もあるでしょう。